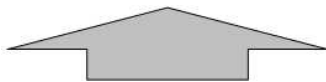


事務事業名 第二次都市計画マスタープラン中間見直し事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1502

施策：	22	市街地の形成	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標			担当課	都市計画課
			担当係	計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和05年度 ~ 令和07年度	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		<目的> 本市の長期的かつ総合的な都市計画の指針を定めるもの（都市計画法第18条の2） <内容> まちづくりの理念・目標 全体構想 地域別構想 <中間見直し事業スケジュール> 令和5年度 土地利用状況の確認 現状把握（市民アンケート） 進捗状況検証 課題の抽出 令和6年度 全体構想（見直し案）の作成 地元意見の把握 令和7年度 地域別構想（見直し案）の作成 パブリックコメント 都市計画審議会諮問・答申				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
都市づくりの基本方針である「第二次筑紫野市都市計画マスタープラン」（平成28年3月策定）について、安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくりを推進するため、中間期にあたる令和7年度に向けて、検証及び見直しを行うもの。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
計画策定の進捗割合	%	30	60	100				

5. コスト								
事業費	計	千円	2,725	3,307	5,898			
	国	千円	0	0	0			
	県	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
一般	千円	2,725	3,307	5,898				
正職員人工数	人工	0.8	1.5	1.2	0			
正職員人件費	千円	6,252	12,035	10,057				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	8,977	15,342	15,955				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	令和5年度から事業開始 令和5年度は、市民アンケート、進捗状況の検証により課題を抽出し、見直しの方向性の検討を行った。 令和6年度は、地域別懇談会、策定会議を開催し、全体構想（見直し案）の作成を行った。							
どちらかといえばあがっている								
あがっていない（停滞・低下）								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄						
筑紫野市総合計画等の上位・関連計画との整合を図りつつ、第二次筑紫野市都市計画マスタープランにより都市計画関連施策を進めている。中間期にあたる令和7年に向けて、マスタープランを検証し、必要に応じて中間見直しを行う。		第二次都市計画マスタープラン（平成28年3月策定） 目標年次：令和17年（2035年）						